



No.3.2024.5.31

保育スタッフのマッキーこと小井土恵です。本名が一文字も入っていないニックネームですが、旧姓が牧野です。短大卒業後に、東京の児童養護施設（T 学園）で働いていました。そこで子どもたちに呼ばれていて、思い入れがあるので、今はぴっぴの皆に「マッキー」と呼んでもらい、嬉しいです。児童養護施設ってどんな所か、どんなふう子どもたちが暮らしているのか、なかなか馴染みがないですね。ここで少し、養護施設のことを書いてみたいと思います。

児童養護施設とは様々な事情により、家庭で生活することが難しい子どもたちが暮らしている施設です。学生時代に、家庭から離れて生活する子どもたちを支援したい思いで就職しました。そう思うようになったきっかけは、短大の時に児童養護施設でボランティアをしたことです。施設の子供たちは大人を独占する時間がとても少ないため、個別担当ボランティアという特定の子供の担当になり、一对一の時間を過ごすというものでした。そこで出会った小学五年生のMくん。施設を訪れるのは、一、二週間に一回程でしたが、行くといつもと嬉しそうに甘えてくれました。家庭から離れて施設で暮らす子どもたちが、いかに大人を必要としているかを実感し、そんな子どもたちの抱える気持ちを受けとめていきたい！と強い思いを持ち施設で働き始めました。しかし、当時の私は両親のいる家庭でごく普通に生活し、家事もほとんど母任せで、もちろん子育ての経験もなく、何もできない人間でした。施設で暮らす子どもたちの気持ちを簡単に理解できるわけではなく、受けとめるのも容易なことではありませんでした。今から二十年前になりますが、当時 T 学園は、二～六歳の幼児が生活する幼児寮が一つ、小学生から高校生が生活する学童寮三つがありました。一つのフロアにキッチン、トイレ、お風呂、リビング、子どもたちの個室という作りでした。より家庭的な生活をと、キッチンで職員が食事を作り、買い物なども行っていました。子ども九人に対して大人は三人。といっても交代勤務なので、常時いる大人は一人～二人です。家庭から離れ、大人を信頼できず、でも自分を見て欲しい、受けとめて欲しいという子どもたちです。大人の手が足りず、勤務時間が終わっても残っているのが常でした。

色々な子どもたちとの出会いがありました。何かのきっかけでパニックになると止まらず泣き叫ぶ子…。些細なことがきっかけで口を聞いてもらえなくなった子…。生活が荒れて自分の部屋に大人を入れようとしない子…。様々な事情で家庭を離れている子どもたちは、自分の行動がどこまで許されるのか、この人はどこまで受け入れてくれるのかと試し行動をすることが多くありました。感情のコントロールが難しくなり、ずっと泣いて暴れること…不安から、夜泣き叫ぶこと…嘘をついてしまうこと…怒りをものにぶつけること…。日々の子供たちの様々な言葉や行動、受けとめるのがとてもしんどかったです。


どのような言葉をかけたら良いか分からず、自分が泣きそうになることもありました。子どもたちの感情に寄り添いながら、どんな言葉をかけたらいいのだろう、どんなことをしたら満足するのだろうと摸索する日々でした。そして、子どもたちがそういう姿なのは、今までの育ってきた環境によるものだということを痛感しました。それでも一年、二年と子どもたちと一緒に過ごしていくうちに、少しずつ受け入れてもらえるようになりました。特別なきっかけはなく、日々の生活を共にすることで、信頼関係ができていったように思います。今、振り返ると積み重ねることの大切さを実感します。

ぴっぴで働く今思うこと。ぴっぴの子どもたちは、自分とひとの違いを受け入れながら友だちやスタッフと信頼関係を築いていると思います。大人が介入しすぎず、自分たちで気持ちを伝え合って、ぶつかったり解決する方法を探したりしていることや子どもたちのやりたいことが（もめごと）、たっぷりできる、話し合える時間や環境があることは幼児期にとっても必要なことなのだと思います。その根底には、家庭でのあたたかい関りがあり、ひとを信頼する気持ちが育っていることを感じます。ひととひとが分かり合い、信頼関係を築くことはたやすいことではありません。自分の気持ちを表現して、相手とぶつかり合いながら、上手くいかないこともあったり、受けとめてもらえたり…という日々のやりとりの積み重ねが、信頼関係を築くうえで大切なことです。日々、自分の子育てや保育でどうしたらいいんだろうと悩むことがあります。目の前の子どもが何を感じて、何を求めているのか丁寧に寄り添い、気持ちを伝えあい、共に時間を過ごしていけたらと思います。

：小井土 恵


# 木林であそぼう! つくろう! みつけよう! 6月

新緑の季節から、あっという間に万緑の季節になり、森の中も木影が涼しいと感じる季節になりました。木々の葉は緑、といっても本当に様々で、いつも絵を描く時、色合いを丁寧に苦勞するのですが、(今回も…涙) 青空とともに森で木々を見上げると、その美しさに、なぜ葉っぱは緑色なのだろう…としみじみ考えてしまったり…

そして、この季節、美しい緑の葉たちをよーく近づいてみると様々な形をしていることに驚くかもしれません。皆さんは「葉っぱを1枚描いて下さい」と言われたら、どんな形の葉を描きますか? 大半の方がおそらく  ←こんな形を描くのでは…と思うの



**ダンゴウバイ**  
(フェーリンブツリー)  
ちぎるとよい香り  
お茶にもなり  
黄葉が美しい  
花は黄色

  
フェーリンブツリーの花は赤い  
赤い

ですが、実際、森の木々をみていると多種多様な葉があります。今回はよくみかける形のおもしろい & 特徴的な葉をご紹介します。ぜひ、子どもたちと一緒に探してみてください♪ きと森が



**あけびの葉**  
木通

つる性の落葉低木  
秋に紫色の実がたれ  
食べられます。  
つる先の新芽も美味♪



さがしてみよう!



**ハナイカダ**  
花筏

葉の上に花が咲く  
珍しい木  
若葉は食用にも♪

お花と葉っぱが合本してるんだよ...



ガラガラアア

どちらもクワの葉

**クワの葉(桑)**

1枚として同じ形のないかわったタイプの木。さわると裏面がざらざらしていて服などにしっぺつく。夏前になる木の葉(マルベリー)は重労働 & ひびの子どもたち(赤毛虫)の大好物



クワの実だーいすきおてもおもしろい♪

アントシアニンが豊富なスーパースト!



**ミズヒキ**  
水引き

昔、ひびの森でこの葉をみて「反面ライダーみたい!」と笑われてきた。子がいはい。



赤いとあおあお

赤に小さな糸状の花を咲かせる

葉の赤い部分は葉の中にあるアントシアニンという赤い色素の色でその量が多少い部分が赤くなります。

# ただよリ

先週(5/24)は、お田植えを どうも  
ありがとう ございました。あの広い田んぼも、  
みなさんでやると 手で植える 作業も あつう間!  
ひとりや少人数で 田んぼにいるのも 好きですが、  
あの人数でいる 田んぼも いいなあ〜と 毎年  
ワクワクしてしまいます。おひさまのお天気もお田植え  
日和。心地よい時間でした。

田植えをする人もしない人も、それぞれの状況で  
あの場において.. お休みで来れなかった人も  
“今まだやってるかな”とか 想像したり しなかったり..?  
うまく言えないけれど、みんなで あの時間が  
作られていたんだなあ と、まるごと “ひっひの田植え”が  
今年もできたことがよかったなあ と 感じています。  
(苗が 植えられるほど 大きく 育ったことも)

そして、ここからは 草取り 作業が始まります。  
毎週 水よう日の午前中(雨天・荒天は除く)、作業して  
いますので、お時間あるな、とか 田んぼ ウォーキング したいな、  
とか 田んぼ 筋トレ したいな、とか 田んぼで うたいたいな、  
叫びたいな、などなど 田んぼに 気持ちが 向いた  
ときはぜひ! お待ちしています。(外)AM 以タトでも、  
ご自身の田んぼ 感覚で 大切に 関わって くださるのも  
嬉しいです。(子どもたちと行くときを除く) 美味しいお米が 育ちますように(お)